



テリキキ

勤めていたファーストフード店のバイトをクビになり、次の仕事が決まらず、ひなは途方に暮れていた……貯金ももうそう多くは残ってはいない。このままでは弟との生活も続けられなくなる。




困窮した少女は判断を誤る。

路上で話しかけてきたのは、一見するとまともそうな見た目の男性だった。優しい声色で、仕事を探してるのか、ちょうど女性スタッフを探していたと告げられる。お金に困ってることを話すと、ひどく同情したようなそぶりです、それなら力になれる。少し大変な仕事だけど、給料は良いのだと。



藁にも縋る思いだった彼女は、平時ならば男を怪しんでかかったかもしれないその甘い言葉に乗ることにした。もしかかされると、薄々気付いていたのかもしれない。話しかけられる前から、そうでもしないと生活していけないうことに。



男の口ぶりでは真つ当な店での接客サービスであると聞いていたが、通されたのは小さな雑居ビルの一室で、とてもじゃないがお店には見えなかった。

本当にここであつてののか尋ねると、会員制の店で公にお客さんを呼び込んでるわけではないのだと言う。

だから安心なのだと説明されたが、何が安心なのかひなほ理解できない。むしろ不安が一層強くなった。



中に入ると、複数人の男性が待ち構えていた。彼らが最初のお客さんなのだという。こんな何人もいるとは思っていなかった。抗議すると、先ほどまで優しく紳士的にふるまっていた男性の態度が豹変し、ここまで来て帰れると思っっているのか、今帰ったらこのお客さんたちをキャンセル料を払わなければならない。それをお前は払えるのかとまくしたてられた。

怖かった。
ひなが恐怖に黙り込むと、再び男性は優しい声色に戻り、約束通り本番行為はしないし、お金もちゃんと払う。ほんの少しの間我慢してお客さんたちの相手をするだけだから頑張ろうと励ます。
ひなは、ゆっくりと頷いた。



ドキ

ドキ

ん

ん...

ドキ

おお...
いいよひなちゃん



ムニ

ムニ...

ムニ
ムニ

ムニ

ん

ムニ
ムニ

ムニ

よしよし良い子だ
その調子

じゃあ俺はこっちを
もらっちゃおうかな

グイッ

えー！

おっ...おっ...
んんんんんんんんんんんん

おっ...おっ...
んんんんんんんんんんんん

グイッ

ギンッ

知らねえよw
挿入まゝす!!

おっ...おっ...
んんんんんんんんんんんん



あー

ひなの処女マンコ
ゲツトおwwwwww

嘘っ
あーあーあー

あ
ん
ん

あ
ん
ん

あ
ん
ん

さすが処女マンコ
すげえ締りだッ

あ
ん
ん





お、おオ
キッツラッ

痛い!
痛いよぉー!

駄目ッ!

わく
わく

バン
バン

バン
バン

バン
バン

わん
わん

すげえ
絡みついてくる

わん
わん

わく
わく

ずーずー

ずーずー

ずーずー

こいつがお前の
初体験のチンコの
味だぞ!

ずーずー

痛……いッ!
はん……ううっ
やめ……てエ……ッ

抜いてッ!

ぎゅ
ぎゅ

あー

「ん、ん、ん」

しっかり
味わえよ!

かっ
かっ
かっ



もう出るッ
膣内に出すッ

どびやる

射精るう

駄目!

ビクッ

ニシシシシシ

ゴブッ

ヤダミー!

カ<

カ<

カ<

カ<

とととととととと

いぱん

ぽんぽん

はあ……

はあ……

はあ、はあ
全く、中々の
名器じゃないか

そ……そんな……

はあ

はあ

はあ

はあ

セクマ

セクマ



お、お願いします
もうお金はいいので
やめてください

誰...
...
...

ビクビク

冗談だろ？

チクッ

我儘言うんだったら
黙らせるしかねえな

な...何？注射？
や、やめて！

ポポ

ポポ

ポポ

ポポ



あ...あ...!?

びんびん

あ...

な...何...?
何を打ったの...

あ...

びんびん

わう

わう



おまミ♡

びびる♡

びびる♡

何これ…

びびる♡

か<

か<

か<

か<

おまおま♡

気持ちいいだろ？
セックスが楽しくなる
お薬だよw

どび
び
ゆる

射精るッ
射精るッ!!



オイ
手が止まってんぞ!!

んんん...
何い...

かく
かく

すんや
すんや
すんや

ずぽ
ずぽ

はあ

はあ

P♡

A♡

ズポ

ズポ

オラア！イケよ!!

くおおおおっ

膣内におじさんのくっさい精液流し込んでやるからなあ

おおッ

ゴクゴク

どしどしどし

ゴドゴド

ゴクゴク

もう出るッ
膣内に出すッ

くっさいおじさん♡♡♡

ゴクゴク





駄目ッ!

ずく

ずく

俺の精液で
妊娠しろお!

ひあ…ヒイッ!
ギい…ッ!

びんツ♡

びゅー

キキ

キキ

びゅ

膣内
だしイイイッ!!

あまあま♡♡

びん♡

ほれ、何惚けてんだよ
ひなあ、しやぶれよお

ん？おい！
こいつの持ち物…

こいつ18って言ってたけど
これ…

わく わく

わく
わく

ビクビク

わく
わく

あ…

あ…あ…

マジ？通りで…
ヤバくね？
クスリ打っちゃまったぞ

ゴ
ロ



大丈夫だってw

チクッ

ハク♡

ハク♡

ハク♡

ハク♡

んम्म!?!

ビュッ

あ...ッ

ハク

ハクッ ハク

ん?え!
お前何やってんだよ!!

どうせもうこいつ
帰せないだろ?
だったらぶっ壊しち
まった方が良くだろ

だからって...いや
何本打つんだよ
死んどまうぞ!?

いっ
いっ
いっ

ふ……ふ
ふ……ふ

ゴウゴウ
ゴウゴウ

ふ……ふ

ふ……ふ

ふ……ふ

ハク♡

ハク♡

ハク♡

ハク♡

お、おい
大丈夫か？

ひなちゃん？

ふ……ふ

いい感じに馬鹿に
なっただろ
飼うならこれくらいで
ちようどいいんだよ

アッアッアッアッアッ!

どろどろゆるゆる

ああーッ
射精るッ 射精るッ

ぽんぽん

びんぽん

びん

びんぽん

無理無理
もう待てないっ

射精したら変われよ
次は俺だ



か< か< か< か<

♡♡♡

すげえ すげえ

すげえ
絡みついてくる

はあ はあ

♡♡♡

♡♡♡

さっきまで
処女だったとは
思えないな

ズク ズク

ズク

ズク ズク

よおし！出すぞ！
膣内に出すぞ！

ゴムルルーツ

あーっ

こゝろっ♡

かっ
かっ

イクミ♡

オラア！
イケよ！！

ゴムル

あーっ♡

イクミ♡



おめおめ...♡

おっ♡
おめおめおめ♡

見ろよ悦んでやがる
とんだアバズレだなあ!

ずぽ♡

ごぼっ!

ずぽ♡

ゴゴゴ

ゴゴゴ

あー♡

馬鹿ガキでも
肉便器の才能が
あるみたいだな!

♡.....おっ...♡

まだまだ
休ませねえぞ！

んんん

おめシ

おめシ
おめシ
おめシ

ズゴ

ズゴ

ズゴ

ゴク
ゴク
ゴク

んんん
んんん
んんん
んんん
んんん

俺の精液で
妊娠しろお！





かく
かく

びゅん

あー

あー

びゅん

あー

びゅん
あー

出るッ

びゅん
あー
びゅん
あー

あー
あー
あー

孕ませ汁
流し込むうううッ

んはあああ……っ
もっとおお♡♡

ぽんぽん

いっちよ前に
よがってやがる

♡

どし

どし

どし

ぽんぽん

ぽんぽん

あーあ

ゴゴゴ

びく

びく

びく

♡♡♡
かてしあひるくく
ごああごああごん

どんだけちんぽ
好きなんだこの
売女!

こうして、男たちの手によってシヤブ漬けにされたひなは、男たちの事務所に監禁され、クスリで判断力を鈍った状態のまま売春させられる日々を送ることになった。

弟と一緒に暮らすため、身を裂く想いで身体を売ったはずなのに、現実には家に帰れず出会ったばかりの男のちんぽをしゃぶる日々。

正気に返ると発狂しそうになって、クスリですべてを忘れることだけが唯一の救いとなっていった。



弟は：尻はどうなったのだろうか。時間の感覚がなく、あれから
どれだけ経ったのかわからないが、
自身の膨れた腹があれから何か月も過ぎたことを実感させる。

もうあの部屋に住んで無いかもしれない。もう、会うことも無いの
かもしれない……

こんばんは、ひなちゃん
また来たよお

あ、
おじちゃんだあ

またいっぱい
ひなちゃんの膣内に
ザーメン射精すからねえ

すっや

すっや

すっや

びっぴん♡

あや

あや

あや

グポ

グポ

グポ

グポ



んっ♡
んっ♡
んっ♡

んっ♡

んっ♡

ひなちゃん
気持ちいい？

んっ♡

んっ♡
んっ♡
んっ♡
んっ♡

ひなちゃん！
また射精すよ♡

ゴボゴボ

ゴボゴボ

ゴボゴボ

ゴボゴボ

ゴボゴボ

すっ♡

すっ♡

すっ♡

あ♡

あ♡

あ♡

イグツ♡

ビュルルーツ

射精るツ

ひなちゃんの
生まんこ最高おー!!

あひっ♡

びゅっ♡
びゅっ♡
びゅっ♡

びゅーっ♡

おっ♡

びゅっ♡

ひなちゃんも
母乳射精してんどじゃんw

イグツ♡

フーッ
出した出した

ド
プ
ッ

ん
か
っ
♡

びゅー♡

ド
ク
ッ

あ
っ
♡

ん
か
っ
♡
あ
っ
♡
あ
っ
♡
あ
っ
♡
あ
っ
♡
あ
っ
♡

び
ん

ト
ク
ッ
♡

び
ん

か
っ

か
っ
か
っ

あ……アあッ
イ……うぞおッ!!



その後、男たちは逮捕され、ひなは保護された。
……監禁から3年後のことだった。3年ぶりに出た外は激しい雨が
降っていた。

BAD END





























